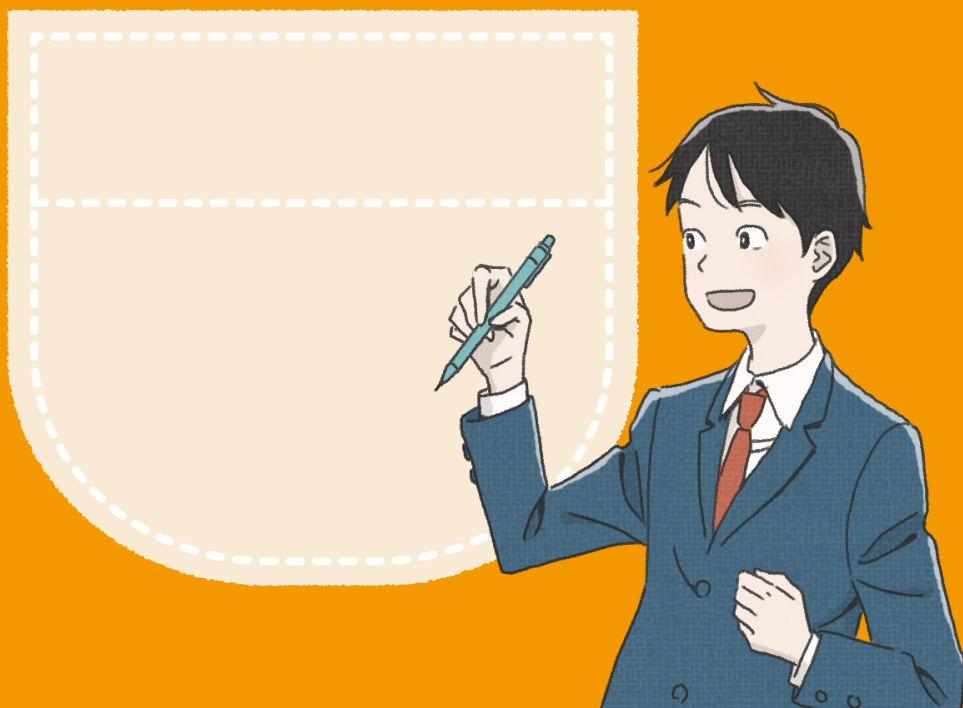


光村ポケット

中学校 国語

全国学力・学習状況調査

「書くこと」の
課題に
向き合う



光村図書



LINE公式アカウント友だち募集中!
授業づくりに役立つ情報を、
いち早くお届けします。



【教授用資料】 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

「書くこと」の課題に向き合う

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から、課題があるとされた「書くこと」の問題を二つ取り上げました。教科書では、それらの課題に対応できる工夫を随所に盛り込んでいます。本資料では、その効果的な活用方法をご提案します。

大問1-4 案内文を書く

「美術展のちらし」において、昨年来場した小学生の感想と、今年の美術展で工夫した点を結び付けて書く問題。

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれくらいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日時 令和7年11月15日(土) 10時～16時

場所 第一中学校 体育館

会場図

体験できる時間(各回30分間)

●10時～ ●11時～ ●12時～ ●13時～

中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

第一小学校6年生のみさんへ

【工夫】

A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。

B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

A どうやってあんなすばらしい作品をつくったのかわかりました。美術でどんなことを学べるのかが楽しみです。

イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。

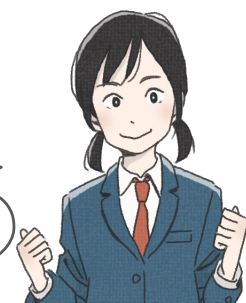
ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

課題

考えが伝わる文章になるように、**根拠を適切に結び付けて書くこと**に課題があることがわかります。

正答率
31.2%

3年間を通して習得と活用を繰り返すことで、論理的に考える力が身についていくね。



1年

読むこと(説明文)

「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ

思考のレッスン1

意見と根拠

書くこと

根拠を明確にして書こう

具体例や図解を通して、根拠に基づいて意見を述べることについて学びます。

2年

読むこと(説明文)

モアイは語る

思考のレッスン1

根拠の吟味

書くこと

適切な根拠を選んで書こう

理解をさらに深め、根拠の適切さや信頼性を吟味する観点に加わります。

3年

書くこと

論理の展開を意識して書こう

読むこと(説明文)

複数の意見を読んで、考えよう

論理の展開を工夫するなど、身につけた知識のさらなる活用を促します。

教科書では……

Step 1

意見と根拠の関係について理解する

情報の扱い方について学ぶ小教材「**思考のレッスン**」では、意見と根拠の結び付きについて、取り立てて学習をすることができます。身近な題材を基に、ステップを踏んで理解した後、練習問題に取り組む構成となっています。

Step 2

身につけた知識を「書くこと」に生かす

「思考のレッスン」では、気をつけたいことを「**チェックポイント**」としてまとめています。「書くこと」の学習の際に、根拠として何を選ぶかを検討したり、文章の説得力を確認したりするときに活用できます。

大問4-2 手紙を書く

手紙の下書きを読んで、修正したほうがよい部分を見つけて文章を整え、その理由を具体的に書く問題。

手紙の下書きの題

先日

さて、昨事は、私たちの職場体験活動に協力してくださりました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていませんでしたが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

～協力ください～

課題

読み手の立場に立って、語句の用法、叙述のしかたなどを確かめ、**文章を整える**ことに課題があることがわかります。

正答率
30.4%

文章を書くときは、常に相手と目的を意識することが大切なんだね。



教科書では……

Step 1

推敲の観点を体系的に学習

各学年9月の「書くこと」教材は、「**推敲**」の系列となっています。推敲に必要な観点を、3年間を通して体系的に学習することができます。また、二次元コードにある「**書くことのミニレッスン**」では、デジタル端末上で課題に取り組むことができるため、試行錯誤も容易です。

- 1年p118 読み手の立場に立つ
- 2年p112 表現の効果を考える
- 3年p120 論理の展開を整える

1年p118「書くこと」[推敲]

読み手の立場に立つ

高木さんは、地域の人に出す体育祭の案内文の下書きをした。

第33回 南中学校体育祭のご案内

書いてですね、皆様、いかがお過ごしでしょうか。さてこのたび第33回南中学校体育祭を下記のとおり開催します。日ごろ私たちを見守ってくださる地域の皆様と、秋の一日を楽みたいと思っています。どうぞお楽しみください。

推敲する ▶ 高木さんは、地域の人に出す体育祭の案内文の下書き改めよう。

① 次の観点を参考に、②を書き改めよう。

- 漢字や仮名づかい、送り仮名の誤りはないか。
- 句読点の打ち方は適切か。
- 言葉の選び方や使い方が、読み手にして適切なものになっているか。

Step 2

練習問題に取り組む

「書くことのミニレッスン」は、全ての「書くこと」教材に設けられています。「推敲」系列以外の教材でも、文章の推敲を意識した練習問題に取り組めるので、**目的や相手に応じて文章を整える力**を継続的に育てていくことができます。

「書くことのミニレッスン」で扱っている推敲の観点一覧

学年	掲載ページ	観点
1年	116	文末表現をそろえる
	118	読み手の立場に立つ
	140	話し言葉を書き言葉に改める引用のしかたを知る
	228	一文を短くする
2年	54	主語と述語を正しく対応させる
	110	敬語を正しく使う
	112	表現の効果を考える
	132	話し言葉を書き言葉に改める
	224	文節どうしの関係を明確にする
3年	120	論理の展開を整える

生徒の本気を引き出す！

達人の言葉かけ

生徒のやる気を引き出したり、学習の自己調整を促したりするための、達人の「言葉かけ」をご紹介します。

学力調査を実施した後に

とくに悩んだのは、
どの問題？

正解・不正解という「結果」だけでなく、解答に至るまでの**思考のプロセスに着目させる**ための言葉かけです。

「何を難しいと感じたのか」「なぜその問題で迷ったのか」といった観点で振り返ることが、自己の**学習状況を客観的に把握する**きっかけとなります。その気づきを踏まえて「これからどんな学習に力を注いでいくか」を思い描くことで、**学習を見通す力**が生徒の中に育まれていきます。



山形大学教授
光村図書 中学校「国語」編集委員

三浦 登志一 先生



結果を返却するときに

強みがわかると、
次に伸ばすところ
も見えてきそう。

みんなの強みはここだね。

調査結果を、生徒の学習意欲につなげるための言葉かけです。

個人票からだけでは見えにくい、学年やクラス全体の特徴を分析し、全国的な平均値等と比較しながら、特に**優れていた点を積極的に取り上げて伝えます**。あえて課題ではなく「よかったところ」に目を向けて、生徒のがんばりをプラスの言葉で認めることで、自分たちの強みや得意への自覚を促しましょう。その手応えが、生徒の**前向きな学習意欲**につながります。



教授用資料

発行日 2026年1月
発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
イラスト みずす／田中真琴
デザイン 田中真琴



光村図書

光村図書ウェブサイト
光村図書 | Q

